

宮陵会報

# Kyū-Ryō

**祝** No.100

2015・7

発行責任者  
一般社団法人  
神奈川大学宮陵会  
広報委員会

---

〒221-0802  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
神奈川大学内  
TEL 045-481-5661  
(内線 2451~3)  
FAX 045-413-0791  
印刷所 株式会社 江森印刷所



創刊号 1949年10月1日発行



創刊号 1969年3月1日発行



第10号 1975年3月25日発行



第20号 1979年11月2日発行



第30号 1983年8月20日発行



第40号 1986年12月22日発行



第50号 1990年8月10日発行



第60号 1995年7月25日発行



第70号 2000年7月31日発行



第80号 2005年7月29日発行



第90号 2010年7月31日発行

<b>Contents No.100</b>	平成27年度定時総会開催される…………… 2	活性化している地域組織紹介…………… 14
	宮陵会報100号特別企画	ブロック会のお知らせ…………… 15
歴代広報委員長座談会…………… 6	宮陵会だより…………… 15	「女性会員のつどい」のご案内…………… 16
ホームページ立上げ事業について No.2…………… 9	企業で活躍している卒業生紹介…………… 10	ホームcomingデー開催のお知らせ…………… 16
海外で活躍している卒業生紹介…………… 12	地方で頑張っている飲食店紹介…………… 13	神奈川大学箱根保養所ご利用案内…………… 16
		「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」のお願い …… 16

# 平成27年度定時総会開催される

## 6月6日 母校16号館セレストホール

平成27年6月6日(土)午後3時より16号館セレストホールにて、一般社団法人神奈川大学宮陵会の平成27年度定時総会が開催された。開会に先立ち、今年2月1日、代議員に就任された、鈴木英司(37経)、勝巖(38経)、清水英樹(56法)の3氏が逝去されたため出席者全員で黙祷を捧げご冥福をお祈りした。

校歌斉唱した後、総会に移り、議長に武



笠健次(41法)が選任され、事務局より社員(代議員)168名中、出席107名、議決権行使22名、委任状31名の計160名で定足数に達していることが報告、議事録署名人には、庄子忠宏(40工経)、宮澤俊次(48経)の両氏が指名され議事に入った。会長は挨拶で平年より5月の平均気温が5度高くまさに猛暑の中を全国各地より参集されたことに感謝され、また議題についての協力依頼があり、本総会をもって退任することを言明された。まず、報告事項として「平成26年度事業報告」がなされ、次に決議事項に入り、第1号議案「平成26年度収支決算承認の件」が審議、原案通り承認された。第2号議案「役員(理事20名、監事3名)選任の件」については事前に郵送による投票が実施され、役員紹介一覧(本誌3〜4ページ)の通り選任されたことの報告があり、承認された。新理事会開催のため総会はいったん休憩になり、理事会終了後再開、執行部より会長、副会長3名、専務理事3名が選任されたことが報告された。

大場新会長の挨拶は、狩野会長の10年のご尽力に感謝し、3・11の東日本大震災の折、東北3県の首長さんをはじめ、多くの会員の皆様にも足もとの悪い中、お見舞いに

駆けつけていただいたこと、法人格の問題では、社団法人宮陵会から一般社団法人神奈川大学宮陵会へスムーズに移行したこと、宮陵会館が学校法人より建設の運びとなり、永年の希望がかなえられるのが近づき、狩野会長の後を引き継ぎ、ルールにのっていきたくと話された。

今回の功労表彰及び感謝表彰については地域組織関係者のみで、各々の地域組織総会時に表彰するため、特別表彰を硬式野球部、レスリング部の阪部創(国経4年)さん、ライフセービング大会等で優勝など輝かしい成績を残された大島圭介(人科3年)さんの1団体、2名に表彰状と記念品が授与された。

引き続き、狩野会長から学校法人神奈川大学正野幸延理事長に「米田吉盛教育奨学金」募金への2,000万円の目録が贈呈された。

退任された狩野会長より、18代目の会長だと最近知ったが昭和12年創立総会以降不明な点が多く、引き継ぎ事項として今後はつきりしてほしい。10年間在任したが過去には大学に迷惑をかけたことがあったが、まずみんなの協力を得て、大学との信頼関係だけはきちっとすることを第一に掲げ、理事長、学長、先生方からご協力、ご指導を賜って何とかそういう形になってきた。また、社団法人から一般社団法人になった関係から大学へ、9年間にわたって、約5億円近くが寄付されるがこの資金は会館建設に向け積み立ててきたもので、そのため、伊藤前理事長に大学に同窓会館建設をお願いしてきたが正野理事長にも引き継がれて、今回建設の快諾を得た次第だ。大学が建ててくれるので、所有者は大学だが、「宮陵会館」という名前を付け、大きな看板も



付けていただき宮陵会の活動拠点として使用させていただきたい。すでに宮陵会は、会館建設特別委員会を設置しているのでここで検討していただきたい。一層同窓生が楽しみ、誇りの持てるような拠点を作っていきけるよう引き継ぎます。

大場新会長は私のもとで専務、副会長の職を歴任していただきましたので会務に精通しており、また大半の理事が再任しておりますので心配なく、しかも明るい人たちが何事にもオープンにやってきましたが今後とも変わらずやっていただけると信じているとの退任挨拶があった。

その後、正野幸延学校法人神奈川大学理事長、石積勝神奈川大学学長よりご挨拶を頂戴し定時総会は終了した。

会場を1号館8階に移し、懇親会が開かれ午後6時30分を過ぎ和やかなうちに閉会となり全日程が終了した。

# 会長退任の御挨拶

## 第十八代会長 狩野 七郎



先の総会におきまして会長を辞することになりましたが、狩野七郎でございます。

就任いたしました折は、全くもつて予想もしていませんでしたので、正に青天の霹靂と驚いた次第でありました。私も本会の運営には理事として昭和57年から63年まで就任し、平成元年から平成6年までを財政委員長として、そして最後に平成7年から16年までを監事として関わって来たことではあります。監事も次の方に引き継いで終わることを考えていた時でもありません。

会長をお引き受けするのであれば、本会の財政状況が学生諸君の前納会費に依存している状況を少しでも改善するためこれを何とかしたい。既に10年前から会費の改定について理事会で議論をしてきていたとのことでしたから、検討してきただけではなく、結論を導き出しこれを具体化することから始めた次第です。いろいろな議論の末、終身会員の皆さまも含めて卒業後20年を経過した会員の皆さまから維持会費をいただくことにしました。

そして次にでてきた課題が、公益社団法人の法的な大改正に伴う諸課題でありました。任意団体として移行するのか、一般社団法人または従来通り公益社団法人として

移行するのかが問われ、理事会内に特別検討委員会を設けて鋭意検討して得た結論が、今日の一般社団法人神奈川大学宮陵会として運営することになった次第でございます。

そして後年は同窓会館建設のことでございます。一般社団法人に移行する議論の中から宮陵会館取得の話が急速に発展し、学校当局のご配慮のもと具体的にその構想の青写真が示されました。会長退任と期を一にして「一般社団法人神奈川大学宮陵会館建設計画」を残し得て誇りに思っております。

最後になりましたが、永きにわたり深く関わっていただいた学校当局の理事長、学長ならびに関係の皆様のご指導ご協力があったることと心から感謝申し上げます。そして、共に苦勞した役員の皆様ならびにご支援いただいた会員の皆様へ感謝し、退任の挨拶とさせていただきます。

# 会長就任の御挨拶

## 第十九代会長 大場 憲治



会員の皆様、お元気の事と思えます。この度、6月6日に開催されました、一般社団法人神奈川大学宮陵会

(以下「本会」という)の、平成27年度定時総会に於いて、会員皆様方のご推薦を受け会長職を務める事と成りました。多くの諸先輩方がいる中、未熟者の私ではありま

すが、本会の運営には、社団法人宮陵会時から現在の一般社団法人神奈川大学宮陵会と、本会での役員歴が、理事6年・専務理事6年・副会長2年と経験したこともあってか、今回の人事で、突然に会員皆様方からのご推薦と強い後押しがあり、大変驚きましたが光榮に存じ、お引き受けする事にしました。就任した以上は、会務運営、会の活動に最大限の努力をして、その重責を果たしたいと考えております。

狩野前会長時代から、神奈川大学の理事長・学長・常務理事・局長を始めとした幹部の皆様方と、意見交換など交流会が定期的に行われる様に成り、色々な面での環境が整いつつあります。本会は、こうした事を踏まえて、大学に対して何が出来、何をしなければならぬかを明確にして、実行していかなければなりません。

さて、本年度は、定時総会にて事業計画を説明した通り、(1)神奈川大学の進展と維持に必要な事業、神奈川大学教育振興事業や宮陵会奨学金の給付・貸与事業など(2)会員相互の連携強化とその他本会の目的達成に付随する事業、特に地域組織のホームページ新設支援と情報ネットワークの構築推進やブロック会の強化推進など(3)本部関係では財政基盤の確立、事務局体制の強化、それから宮陵会館(仮称)建設に向けた会館建設特別委員会の開催推進や宮陵会創立80周年事業(平成29年度)の策定及び推進など、各種委員会を設置して、理事の職務分担を決めて、①総務財政委員会、②組織委員会、③広報委員会、④事業委員会、⑤女性委員会などに、全員が参加して、役員一同目的達成に取組みます。どうか会員皆様方の絶大なるご支援と、ご理解をお願い申し上げます。

# 新役員紹介 (次頁へ続く)

会長

大場 憲治  
(昭44経 茨城県)

副会長

宇野 峰雪  
(昭37法 新潟県)  
女性委員会担当

副会長

古川 勝彦  
(昭40経 佐賀県)  
事業委員会担当

副会長

間中 晟  
(昭44経 神奈川県)  
広報委員会担当

専務理事

春原 正三郎  
(昭47法 栃木県)  
広報委員会担当

専務理事

平能 孝一  
(昭48貿 神奈川県)  
組織委員会担当

専務理事

佐藤 武  
(昭56経 山形県)  
総務財政委員会担当

理事

北野 紘一  
(昭39法 神奈川県)  
組織委員会委員長



理事  
渡辺 恵子  
(昭52法 鳥取県)  
女性委員会委員長

理事  
内藤 正久  
(昭51機 広島県)  
広報委員会委員長

理事  
多湖 秀明  
(昭46経 愛知県)  
組織委員会副委員長

理事  
会田 彰  
(昭45貿 神奈川県)  
事業委員会委員長

理事  
中野 健一  
(昭45経 富山県)  
総務財政委員会委員長

理事  
久保 清治  
(昭43貿 北海道)  
事業委員会副委員長

理事  
浅野 博之  
(昭43貿 宮城県)  
組織委員会副委員長

理事  
栗田 光郎  
(昭39機 愛媛県)  
総務財政委員会副委員長



監事  
三宮 政俊  
(昭51法 神奈川県)

監事  
今田 正紀  
(昭45経 山形県)

監事  
三繩 昭男  
(昭43貿 神奈川県)

理事  
赤井 昭一  
(平6応化 神奈川県)  
事業委員会副委員長

理事  
手塚 正  
(昭60英 東京都)  
事業委員会副委員長

理事  
永田 晴彦  
(昭58貿 愛知県)  
広報委員会副委員長

理事  
庄子 さち子  
(昭54法 東京都)  
女性委員会副委員長

新役員紹介 (前頁より続き)

### 表彰者芳名

#### ■功労表彰

(表彰規程第2条第2号該当)

##### 地域組織関係

- 鈴木 英司氏(故人)  
昭和37年法経学部経済学科卒業  
元札幌宮陵会会長
- 赤水 芳仁氏(故人)  
昭和40年法経学部法学科卒業  
元島根県宮陵会会長
- 船渡 幸彦氏  
昭和37年法経学部経済学科卒業  
元バスケットボール部OB会会長

#### ■感謝表彰

(表彰規程第2条第3号該当)

##### 地域組織関係

- 門山 廣文氏  
昭和33年法経学部経済学科卒業  
元室蘭宮陵会会長
- 久保田 重夫氏  
昭和45年経済学部経済学科卒業  
元群馬宮陵会会長・副会長
- 川崎 武敏氏  
昭和46年経済学部貿易学科卒業  
元群馬宮陵会会長
- 前田 義文氏  
昭和39年法経学部貿易学科卒業  
元三重県宮陵会会長

- 吉田 曠二氏  
昭和36年工学部機械工学科卒業  
元大阪府宮陵会副会長
- 深山 嘉伸氏  
昭和41年工学部応用化学科卒業  
元和歌山県宮陵会幹事長
- 野々瀬 雅博氏  
昭和36年法経学部経済学科卒業  
元徳島県宮陵会副会長
- 坂井 公明氏  
昭和36年法経学部貿易学科卒業  
筑豊宮陵会会長
- 平山 寿則氏  
昭和48年工学部工業経営学科卒業  
元長崎宮陵会会長
- 横山 健一氏  
昭和36年工学部電気工学科卒業  
元熊本県宮陵会副会長
- 永峯 暉夫氏  
昭和30年法経学部経済学専修課程卒業  
箱根町宮陵会会長
- 中山 武志氏  
昭和41年経済学部貿易学科卒業  
元空手部OB会会長
- 北川 晃司氏  
昭和40年工学部機械工学科卒業  
元ラグビー部OB会会長・副会長

#### ■特別表彰

(表彰規程第2条第4号該当)

- 硬式野球部  
第63回 全日本大学野球選手権大会準優勝
- 阪部 創氏  
経営学部国際経営学科4年  
第11回世界学生レスリング選手権大会 グレコローマンスタイル75kg級 3位
- 大島 圭介氏  
人間科学部人間科学科3年  
第27回日本ライフセービング・プール競技選手権大会優勝
- 岩佐 暖氏  
人間科学部人間科学科2年  
2015 ISU世界ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会 男子1500m 2位
- 渡辺 耶唯氏  
平成27年人間科学部人間科学科卒業  
第90回日本学生選手権水泳競技大会 200m バタフライ 優勝

平成26年度 貸借対照表

平成27年3月31日現在 (単位:円)

貸借対照表表体。科目、当年度、前年度、増減の欄あり。I 資産の部、II 負債の部、III 正味財産の部を記載。

平成26年度 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位:円)

正味財産増減計算書表体。科目、当年度、前年度、増減の欄あり。I 一般正味財産増減の部、II 指定正味財産増減の部、III 正味財産期末残高を記載。

平成26年度決算について

- 大学主催事業への協賛等として730万円/ホームカミングデー、卒業祝賀会、大学公開講座等への協賛金として充当。
■給付奨学金として①給付奨学金(学部生)2,752,500円 ②大学院給付奨学金(大学院生)4,800,000円/26年度は学部生10名、大学院生12名へ給付。
■「米田吉盛教育奨学金」募金への指定寄付2,000万円/給費生を始め、経済支援、成長支援を目的とした各種給付型奨学金制度の充実が図られている。
■支部等活動助成として1,075万円/地域組織総会開催時の通信費助成、ブロック会議開催費助成、お祝金、総会への出張費他。
■神奈川大学教育研究奨励助成767,000円/採択された4名に対して助成(1人あたり20万円が助成の上限)。
■会誌および会報(年2回および新入生用)印刷費566万円 送付費2,477万円/会誌は正会員のみ、会報は住所判明者全員に送付(夏号には会費振込用紙を同封)。
■貸与奨学金
奨学貸付金回収 13,092,315円
奨学貸付金(新規) 8,634,500円(31件)
神奈川大学の給付型奨学金制度の充実も一助となり、貸与奨学金の申込者は減少傾向。

平成27年度予算について

- 全国地域組織事務局長会議の開催(394万円)/地域組織の事務局長を対象とした事務説明、意見交換、質疑応答の会議を開催(平成27年10月10日(土))。
■ブロック会(ブロック会議)の強化(114万円)/体制基盤の確立、新規ブロック会の発足(関東・東京都下の再編成等)。ブロック会議の開催通知を、当該ブロックを構成する都道府県の会員全員に送付。通知発達は本部で代行、経費を負担する。
■全地域組織のHP立上げ(100万円)/会員間の情報共有ツール、若い卒業生に対する参加促進並びに準会員への認知度向上を目的に全地域組織のHP立上げを推進する。
■神奈川大学教育研究奨励助成(100万円)/1件につき20万円以内の研究奨励金を助成。
■女性会員のつどい(85万円)/地方開催(8月新潟・9月福岡)を計画し、地方在住の女性会員との接点を増やすことにより参加意識の向上を図る。
■宮陵会設立80周年記念事業積立金(1,000万円)

平成27年度 正味財産増減予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位:円)

正味財産増減予算書表体。科目、予算額、備考の欄あり。I 一般正味財産増減の部、II 指定正味財産増減の部、III 正味財産期末残高を記載。

## 宮陵会報100号特別企画 歴代広報委員長座談会

# テーマ「これまでを振り返って、今後に生かす」

昭和44年3月1日に創刊号が発行されてから47年間、今回宮陵会報100号が発行されます。これを記念して座談会「これまでを振り返って、今後に生かす」をテーマに、広報委員長経験者3名、創刊号から印刷・割付等の大部分を担当してくださった株式会社江森印刷所様に出席していただき、現広報委員長が司会を担当してお話をお聞きいたしました。

ご苦勞話や会報の今後の在り方等をお話しくださりましたのでご紹介いたします。

### 【出席者（敬称略）】

西森 秀明（昭和34年法律）、小川 勲夫（昭和37年機械）、高橋 一行（昭和37年経済）  
株式会社 江森印刷所 金子 保、司会内藤 正久（昭和51年機械）

## 宮陵会報や会誌で、ご苦勞されたことや

### 印象深い思い出は

小川…昭和57年当時は、会誌・会報は意識を高くもって書きレベルは落とさないように、と言われたので面食らいました。

高尚な論文のような文章を集めるために、定年を迎えられた教授方や地方の名士に投稿をお願いしました。全般的に文章が多く、同人誌のようでした。

西森…誌名を宮陵会報から宮陵に改題し、総合雑誌的な性格を持たせる試みをしたのが印象深い思い出です。この試みが、大学通信の「大学と社会」という特集に繋がり、さらに「神奈川大学評論」を誕生させることになりました。

また、レベルという話では、改題して20号から23号ぐらいでしたか、

有隣堂書店で売ってもらいました。20号では、画家や放送・映画関係者など著名人に協力してもらい、かなり画期的な文芸特集を組みましたので、評判が良かったと記憶しています。

高橋…私は昭和40年代のころから委員として参加し、20数年間広報委員も務めさせてもらいました。

昭和43年に勃発した学園紛争が、宮陵会の広報活動にも影を落とし、委員の成り手が少なく、大学も宮陵会と距離を置くようになりまし

た。雑誌や広報の編集などは、余計な仕事であるような雰囲気の中で、時間に追われ、期日に発行が



高橋 一行 氏

遅れてしまうのではないかと  
恐怖に駆られて夢にまで出てきた  
ことを思い出します。

執筆や校正で徹夜などして苦労し  
ましたが、今は良き思い出のみ残っ  
ています。

**金子**：当社の初代社長と米田先生との関係  
で、創刊号からお付き合ひさせて  
いただき、この仕事を通じてどう

すれば良いものが作れるかを皆様  
と一緒に勉強させていただいてお  
ります。納期までに納めるために  
は皆様から原稿をいただくことに  
なりますが、「まだいただけません  
か。」という話ばかりしてきたよう  
な感じです。

**高橋**：それはもう恐喝のようでした。(笑)

### 宮陵会報や会誌を作るうえで意識されたことは

**西森**：広報マンとして良い原稿を集め、  
偏ったりベターとして載せたり、  
腹切りしないでバランスよく掲載  
することを心がけました。また、何  
でもよいからと載せると、小中学  
生の文集のようになってしまいま  
すので注意しました。

**内藤**：腹切りとは？ベターとは？

**金子**：昔の紙面の大きさはタブロイド版  
(B4より若干大きい)でしたので、  
紙面の各段の初めから最後の行ま  
で、すべて文字で埋まっています  
(通っている)のは割付の仕方とし  
てはタブーでした。今は紙面がA  
4版ですので、そのようなタブー  
はなくなりました。

**西森**：ベターとは、紙面に全然遊びがなく、  
べったりと活字で埋まっている状態  
で、読者からすると見るからに重



西森 秀明氏

たい感じで、読む気になれないと  
いうことです。紙面は、全部文字  
で埋めないで、中見出しや写真等  
を差し込み見易くすることです。

**小川**：神奈川大学の創生期のことをまとめ  
て書こうということになり、その  
当時は現存していた発祥の地を訪  
ねて桜木町にある4階建ての小さ  
なビルを見に行き、感動して執筆  
したり、仙台や広島に取材に行っ



て地方支部の有力な方達から直接  
お話を聞くようにしました。直接  
現地を見たり聞いたりした、生の  
情報を書くように心がけました。

**高橋**：会誌・会報は卒業生のものだとい  
うことを常に意識し、正確な情報を  
発信することを心がけました。

学園紛争当時は、学内が乱れてい  
たということもあり、多くのデマ  
や誤ったとんでもない情報が流れ  
ていましたので、ともかく本部と  
して正確な情報を発信することに  
努力しました。

**内藤**：活躍されている卒業生に広報委員が  
手分けしてお会いし、直接お話を  
聞いて執筆したり、地方で集える

#### 会報の変遷

神奈川大学同窓会報

創刊号 (昭和44年3月1日)

第31号

神奈川大学校友会報 (改題)

第32号 (昭和59年4月25日)

第46号

宮陵会報 (改題)

第47号 (平成元年4月25日)

～現在に至る

#### 歴代広報委員長 (敬称略)

- ◆ 昭和47年～48年… 復本 岩見
- ◆ 昭和49年～50年… 西森 秀明
- ◆ 昭和51年～54年… 小坂谷義夫
- ◆ 昭和55年～56年… 西條 利夫
- ◆ 昭和57年～64年… 小川 勲夫
- ◆ 平成元年～4年… 高橋 一行
- ◆ 平成5年～10年… 鈴木 朝男
- ◆ 平成11年～12年… 高橋 一行
- ◆ 平成13年～16年… 渡辺 静雄
- ◆ 平成17年～18年… 久米 信行
- ◆ 平成19年～20年… 小川 勲夫
- ◆ 平成21年～22年… 宇久田進治
- ◆ 平成23年～24年… 間中 晟
- ◆ 平成25年～ … 内藤 正久

卒業生が経営している飲食店を訪問し、取材して紹介するような企画を行っています。  
なお、企業を訪問する時には、大

学の就職担当者のスケジュールが合えば同行していただき、その後の就職活動に役立ててもらおうよう心掛けています。

### 今後の宮陵会報や会誌の在り方は

西森：偏ることなく、かつ質の高い魅力

ある広報誌を編纂していただきたい。神奈川県同窓会が発行している出版物だということから、外に出しても恥ずかしくない内容のものを出して欲しい。読み易さという点からは、活字を大きくすることは大事なことです。年を取ると大変ありがたい。高齢者に読んでもらうためには、活字が大きいことが条件です。(笑)

が持てる方法、例えばインターネットとのコラボ等、どうやって皆さんに伝えるかを検討する必要がありますように思います。新しい広報の在り方を是非考えてもらいたいと希望しております。

金子：活字離れで考えさせられるのは、

私の娘婿が神大卒で、宮陵会から会誌・会報が送られてきますと、パラパラと捲ってそれで終わりです。せっかく皆さんが苦勞して作ったのに残念で仕方ありません。どうかしたいのですが、私にも解決策はありませんが。  
昨今の印刷屋は、データをネット

高橋：今は父兄にも見ていただく時代です

ので、全体のバランスを考えて質の高いものだけに偏らないよう視点の当て方に工夫を凝らしてください。一時支部の紹介がやたらに多いときがあり、叱られたことがありますでしたが、支部のたよりは捨てがたい面もあります。

当時、「おじゃまします」という支部を紹介する企画で近場の支部を取材し、喜ばれた記憶があります。また、地方で活躍している卒業生の紹介は今後も続けてください。充実した会誌・会報になるよう祈っております。

内藤：デジタル化を検討してみてもどうか、という心強いご提案をいただき

ありがとうございます。今後はますますデジタル化が進み、アナログの代表と思われる印刷物が淘汰されるのではないかと、という心配がありました。紙媒体は絶対になくしてはならないと思っています。しかし、紙媒体にデジタルを取り込むことは、今後は重要だと考えています。

例えば、飲食店の紹介や地域組織の紙面にQRコードを印刷してお



小川 勲夫 氏



株式会社 江森印刷所 金子 保 氏



司会進行・文責 内藤 正久

き、スマホをかざすと詳しい情報がすぐに手に入るとか、予約や申し込みがその場でできる等、アナログ紙面でデジタルを活用するという手段は、有効だと思います。実はある地域組織を活用して紙面にQRコードを印刷して会の参加を募り、SNS(フェイスブック等)も利用して成果を調べるという実験を行いました。早いうちにアナログとデジタルを共有させた紙面を企画してみたいと思います。  
また、長年の懸案になっていましたHPですが、いよいよ本年度中に全地域組織のHPが立ち上がる予定です。皆様気軽に観て使っていただけるような内容にしていきたいと考えております。  
また、会報は江森印刷所さんにごんばっていただき、100号以降はフルカラーで発行することにしております。  
これからも皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

「文責 内藤」



# 全地域組織のホームページ (HP) 立上げ事業について No.2

H P立上げ事業につきましては、会誌 64号でH P立上げ事業の概要を紹介し、宮陵会総会では代議員の皆様にご覧いただきHPのイメージを説明させていただきました。今回は、「各地域組織への依頼事項」と「スケジュール」ほかを、説明させていただきます。

## 1 地域組織への依頼事項について

会誌64号でHPのサイトマップを図で説明させていただきました。トップページから始めて、会長の挨拶等簡単な地域組織の紹介、会合や催し等のお知らせ、役員や会則、お問合せほかのメニューを設定する予定です。これらのページを作るためには、各地域組織から情報を送っていただかなければいけません。すでに、宮陵会本部からお願いの文章を送らせていただきましたが、期限までに決められた情報を電子データでお送りください。秋に全地域組織のHP立上げを想定し、準備を進

## 2 H Pの見方とドメイン (宛名)

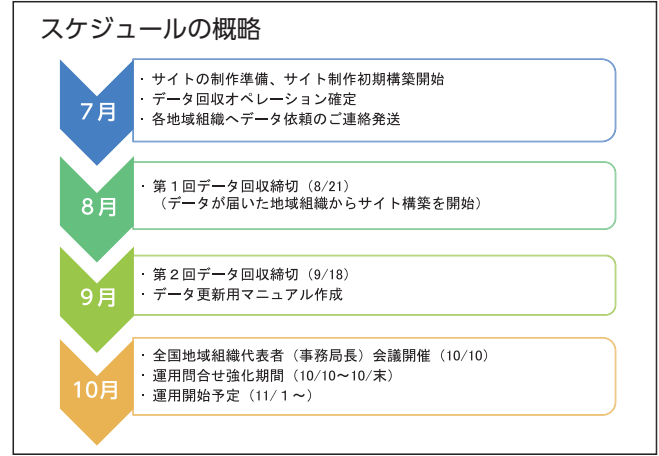
地域組織のHPを見る方法としては、ブラウザを起動(インターネットをするときデスクトップ上で青い「e」のマークをクリック)させ地域組織ごとに指定されたURL(ウェブサイトのアドレス)を打ち込んで見る場合と「検索欄」から地域組織の名称を打ち込んで検索する場合、さらに、宮陵会本部(大学のHPの一部)のHPからリンクさせ(接続させ)て地域組織のHPを見るという3通りの方法を考えています。宮陵会本部のHPからリンクさせるため、地域組織のドメインには大学の後ろにスラッシュ(/)で区切って各地域組織名を入れることを予定しています。各地域組織のセキュリティは、大学のドメインをお借りするのに相応しいレベルでの安全対策を考えております。

## 3 現在HPを運営している地域組織の今後

現在、HPを運用している地域組織は、9組織ありますので、今回のHP立上げに際して3通りの選択肢を準備させていただきました。①新しいHPは作らないで、今あるHPの運用を続ける。(今まで通り) ②新しいHPを作り、加えて今までのHPも

## 4 H P立上げのスケジュール

残す。お互いのHP間でリンクを貼り、双方から閲覧できるようにする。(ただし、既存のHP上でのリンク設定は、地域組織側での作業をお願いします。)  
③新しいHPを作り、今のHPは廃止する。ただし、今のHPから必要な情報を抜出し、新しいHPに掲載する。(必要な情報は、指定のサイトで提出していただきます。)  
どの方法にするかを期限内に選択してお知らせください。



## 5 H Pの活用について

広報委員会では、地域組織のHPを作るだけでは宝の持ち腐れになってしまおうと考えています。そうならないためには、各地域組織の会員通しの情報交換ツールとして活用するだけでなく、各地域組織の役員・会員と学生(準会員)間の連携を図る手段としての活用も考えています。その第一歩として役員・会員や学生(準会員)に地域組織にHPがあることを知っていただく必要があります。そのためには、「各地域組織の役員・会員」と「学生(準会員)」の両者に、機会あるごとに説明することがポイントとなります。宮陵会本部からは、各地域組織にHP立上げのご案内をすでに送らせていただきました。また、宮陵会総会での説明、宮陵会誌や宮陵会報を使った広報活動、さらに、各地域組織の総会に宮陵会代表として出席する理事の挨拶でHPのことを取り上げて説明してもらうようにしています。学生に対しては、大学のお許しをいただいたうえで、大学と協力して秋に行う就職ガイダンス等でHPの活用方法を説明・宣伝する予定です。広報委員会では、いろいろな機会を捉えてHPの告知と活用方法を皆様にお話しできればと考えております。HP立上げ事業は、皆様のご理解とご協力があった初めて成功し、運用が軌道に乗るものと認識しておりますので、重ねて皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

企業で活躍している卒業生紹介1



株式会社 マルイチ産商

取締役相談役

榊原 剛氏に聞く

◆経歴

昭和18年8月 長野県生れ  
昭和42年3月 神奈川大学経済学部卒業後、株式会社マルイチ産商に入社  
平成元年6月 取締役食品営業本部商品部長  
平成19年4月 株式会社マルイチ産商 代表取締役社長  
平成22年6月 株式会社マルイチ産商 取締役会長  
平成27年6月 株式会社マルイチ産商 取締役相談役就任(現任) 兼務として長野県水産物卸連合会長、全国魚卸売市場連合会理事、長野商工会議所常議員、長野県経営者協会常任幹事

◆会社の紹介

当社は、元々は長野市権堂の2間間口の魚屋としてスタートし、2人の個人オーナーが、昭和26年1月株式会社マルイチ産商を設立しました。本年1月に創立65周年を迎え、7月には記念総合展示会を開催する予定です。事業内容は、水産物・水産加工品をメインに、デイリー・冷凍・一般ドライ・加工品等の食品および畜産品等の卸

◆当たり前のことに価値を見出す

私は、学卒1期生として入社しましたが、入社当時の卸業は、汗水垂らして行くに休みもない厳しい労働条件が当たり前でした。まず配属されたのは、冷凍庫の商品の出し入れを担当する仕事でした。今でこそ「定置管理」は当たり前ですが、当時はマインス20〜25度の冷凍庫中は商品が詰まれば、何がどこにあるのか皆目わからない状態でした。毎日商品の出し入れの仕事をやっていて、何でこんなくだらない仕事を

業、小売店舗支援事業、物流・冷凍倉庫事業等を行っています。営業エリアは長野県を中心に、名古屋・北関東・山梨・新潟・北陸と進出しています。当社は、創立以来圧倒的な強豪会社を照準にして「比べて競って追い越せ」という考え方のもと、常に高い目標を持って挑戦し、結果を出してまた挑戦する、という社風で、役員から一般社員までこの考え方がDNAとして受け継がれてきました。また、「正しいものは正しく報われる」という社是を掲げ、皆が守ってきたおかげで、今があると考えています

【資本金37億1,986万円、売上高1,731億9,200万円、正社員584名(平成27年3月期)、子会社10社、関連会社他3社、名古屋証券取引所第2部に上場】

◆「勤勉者」と「怠け者」

人間には勤勉者と怠け者がいると思えます。勤勉者は夢を語り、怠け者は愚痴を語るようです。夢を語るということはプラス思考になり、愚痴を語るとマイナス思考になります。当然、私の心にはプラス思考の良い私と、マイナス思考の悪い私が同居しています。どのように良い私のウエイトを多くするかは、自らが前向きになれるかどうかです。当たり前のことをバカにしないで取り組み、どんな仕事にも価値と喜びを見出せる、そんな人間になりたいものです。

◆失敗のポケットを持つ

小さな失敗から多くを学ぶということは非常に重要なことです。すなわち、自分の心のポケットに失敗事例を多く持つことです。失敗事例を多く持っている、何かに直面した時、こんなことをしたらいけないということがポケットから出てきて、自分の考え方や意思を決定するときの軸になると思います。失敗を恐れて何もしないのは一番ダメだと思います。何をやっても無駄

なことはありません。唯一あるとすれば、失敗や経験から学ぼうとしないことだと思います。

◆ボクサーではなく走り高跳びのアスリートを目指せ

30歳代にある取引先の社長から、「人生は戦いの連続だ。相手を1発で倒すボクサースタイルを目指してはダメだ。自らのハードルを少しずつ上げて戦う走り高跳びのアスリートを目指しなさい」という教えを受けました。目標を設定して、一つクリアしたら次の目標を設定し挑戦しなさいと言われたことが、その後の私のマネージメントのバックグラウンドになりました。その話を聞いて以降、常にこの気持ちを忘れないようにしています。

◆職業人生はマラソンと同じ

職業人生は42.195kmのマラソンの戦いと同じです。第一クールは、入社から5年でマラソンに例えるとスタートから10kmの大集団、第二クールは15年で10〜20kmの中集団、第三が30kmまでの小集団、そして第四がゴールまでのマッスルレースです。一番大切なのは、第一クールで、同期で仲良く学生時代の延長のような時期ですので誰もが付きませんが、27〜28歳までにどのような人生観や社会観、職業観を確立できるかが重要です。この時期にしっかりとしたこのような価値観を備えるためには、本や新聞等の活字を読むだけでなく、異業種の方や先輩、取引先ほか様々な人達と付き合い、話を聞く中で価値観が醸成してくると思います。「多逢聖因(たほうしよんいん)」を実践してみてください。私の経験では、このような価値観を備えた人は、5年後の32歳ごろブレイクし、さらに5年後の40歳頃に将来のリーダーになれるポストが与えられると思います。

(取材・文責/内藤)

企業で活躍している卒業生紹介2



株式会社 トーモク

代表取締役社長

斎藤英男氏に聞く

◆経歴

- 昭和20年2月 広島県江田島市で生まれ、神奈川県横須賀市で育つ
- 昭和42年3月 神奈川大学工学部工業経営学科卒業後、自動車のパーツメーカーに入社
- 昭和44年12月 株式会社 トーモク入社
- 平成2年6月 株式会社 トーモク取締役生産部長
- 平成4年6月 サウズランドボックスカンパニー取締役社長
- 平成9年6月 株式会社 トーモク常務取締役
- 平成10年4月 株式会社 トーモク
- 代表取締役社長就任(現任)

◆会社の紹介

株式会社 トーモクは昭和15年12月に北海道函館乾燥機として創業。段ボール箱の製造販売を開始し、昭和46年1月に商号を株式会社 トーモクに改称しました。現在では、段ボール・紙器製品の供給を軸に、箱型の提案からデリバリーまで含めたサービスを提供しています。また、スウェーデンハウスが提供する住宅事業にも取り組むなど、

その技術や製品は飛躍的な広がりを見せています。

当社の主力事業である段ボールは、すべて受注生産で、企画に沿って作るものではありません。簡単に言えば3枚の紙をお客様の使用目的や用途に合わせて貼り合せて作ります。段ボールの厚さは数種類あり、それを基本として、それぞれのお客様に応じた箱を作っていく訳です。内容物が同じでもお客様が違えば、デザインや大きさが違います。お客様に合わせてまったく別のものを作るのです。当社では1工場1日700〜800種類の段ボールを生産しています。大切なことは、材料が無駄にならないように利用していくことです。紙そのものの機能性、コイル巻き時点での大きさなど材料自体にも多くの種類があり、様々な種類の材料を組み合わせていく必要があります。その組み合わせにこそ面白みがあります。たかが段ボール、されど段ボール。奥が深く、その技術は高いのです。

【資本金136億69百万円、連結売上高1、485億9千万円、正社員3、207名(平成27年3月期)、子会社14社、東京証券取引所第一部、札幌証券取引所に上場】

◆人生観

ひたすら目の前のことを一日一日燃焼し

てきた人生でした。私は42年に卒業してすぐに自動車のパーツメーカーに入社しました。仕事自体はルーチンワークで楽なものでしたが、資本自由化の波が押し寄せた時代でもあり、自動車メーカー全体は焦燥感を持っていました。その会社は自動車会社の下請けということもあり、コストダウンに一生懸命で、給与は低く、ストをするとも許されない環境の中で、自分の自由とは、自主とは何なのだろうか疑問を持ちました。こうした危機感から自分の強みを作ろうと、学生時代に勉強しなかった分を取り返そうと必死で勉強しました。そして2〜3年でパーツメーカーを辞め、幸いにも中途採用で株式会社 トーモクに入社することが出来ました。当時は、転職はものすごいハンデで、仕事も分からないため、今で言うブラック企業顔負けの扱いを受けました。この時、学生時代にサボって勉強しなかったつけが回ってきた。自ら時いた種だと受け止め、じっと我慢してやらなければいけないと覚悟を決めました。入社して私は、工場で段ボールを一番効率よくコストのかからない方法で製造する「生産計画を組み立てる仕事」をしました。どのようにならなければ製造効率をUP出来るのかを日々必死になって考えながらやっていたうちに、仕事の面白さとやりがいを感じるようになりました。

◆組織を運営するときのポイント

ポイントは、企業カルチャーや企業の思いを皆で一つにしていくことだと考えます。今まで社長として率先して動き、指示を与え社員を率いてきました。当社には16の工場がありますが、毎年社長診断と銘打って全工場に出向き状況をつぶさに見て、幹部を集めて仕事の実績や考え方を時間をかけて確認していきます。そして社員全員に直接言葉を伝えます。その際、一

人でも多くの人が理解しやすく、頑張りうと思ってもらえるような一言を心がけて話してきました。また、工場に向いた際は生産の現場を一つずつ回り、当社のものづくりのありようを自分の目で見て指摘します。今でも掃除の仕方が悪いと、私が自ら油まみれになって実践し教えます。掃除の手順にも理由があり、その理由を社員に考えさせるのです。それを教えることで教育になります。教育をするとは見違えるように社員が変わります。一見効率が悪いように見えますが、私にとってはつまらない会議をやるよりも一人の社員の意識改革をすることの方が価値がある、という信念でやっています。また、社員に何かを伝える際に私は手書きという手法をとります。会社の大きな方針や遂行するための基本的な考え方は、全て手書きで示します。手で書くことは考えながら書くことになり、私の思いや感情も伝わります。社員に意味を考えさせるようにあえて難しい語句を使うこともあります。そのためには自分も勉強しなくてはならないため、現在でも勉強の日々を送っています。

◆後輩へのアドバイス

学生時代はよく遊びよく学ぶべきでしょう。好奇心を持ち、遊びにしても同じことばかりするのは良くないと思います。同じことばかりをしていると人間の幅が広がりにません。新しいことをするといろいろな失敗をするでしょう。手痛いしっぺ返しを受けてこそ勉強になるのです。いがり君になれと私は若者に言っています。人間は年齢を重ねると黙っていてもいがりが削れて丸くなります。会社にもよりますが、若いうちほどどんどん尖ってぶつかることで、いろいろなことを学ぶことが出来るはずですよ。

(取材・文責/内藤・吉川)

# 海外で活躍している卒業生紹介

ドイツから

## ラーメン店「無垢 -muku-」

オーナー 山本 真一さん

### 山本真一氏 PROFILE

- ◆ 1981 (昭和 56) 年  
山梨県韮崎市出身
- ◆ 2004 (平成 16) 年  
神奈川大学経営学部  
国際経営学科卒業
- ◆ 2006 (平成 18) 年  
SSP Kosumgüter Trade & Consult GmbH  
(ドイツの日本食材の商社) 勤務を経て大谷商會に  
転職し、営業マンとしてラーメン事業部の責任者を  
務める
- ◆ 2010 (平成 22) 年  
ドイツ・フランクフルトに「無垢 -muku-」開業
- ◆ 2014 (平成 26) 年  
新横浜ラーメン博物館に「無垢 -muku- ツヴァイテ」  
出店  
※ツヴァイテとはドイツ語で2番目(2号店)とい  
う意味

## 店舗の紹介

山本真一さんについては、大学の広報誌「LINDA Style」NO. 301 (2014年12月号) で特集されましたので、今回は、フランクフルト本店を切り盛りする本学OG (真一さんと同ゼミ) の奥様、歩佳さんにスポットを当てて紹介します。ドイツでの現地取材は、大学の平塚研究支援課長木内好信氏に協力をいただきました。

山本真一さんご夫妻が経営する、ドイツのフランクフルトで人気の「無垢 -muku-」というラーメン店が、2014年6月から1年半の期間限定ながら、新横浜駅近くの「新横浜ラーメン博物館」に「無垢 -muku- ツヴァイテ」の名前で出店しています。現在は、ご主人がラーメン博物館店を、奥様がフランクフルト本店をと、夫婦別々になって切り盛りされています。

フランクフルトには、欧州中央銀行の本部やヨーロッパ最大級のハブ空港やドイツに隣接する国々を結ぶ国際列車が頻繁に発着するターミナル駅があり、まさにヨーロッパ経済の中心都市といえます。そのフランクフルトに店を構え、ドイツのみならず近隣の国からも「無垢」のラーメンを食べにたくさんのお客さんがお越しになるほどの評判のお店です。

お店は、フランクフルトの繁華街のタウンスバットヘまたはフランクフルト南駅から路面電車(14系統)に乗り、ほんの数分で着くフランクフルトシュタイナーシュトラッセという停留所の目の前にあります。営業は、18時から23時まで、毎週月曜日がお休みです。今回は、特別にお願いして開店前にお邪魔しましたが、お店の前には開店を待つお客さんもいて、予約をしないとい入れないこともあるとのこと。

山本さんご夫妻は、ともに経営学部のティオフラス・アサモア教授のゼミに所属し、在学時から海外に目を向けて学生生活を送っていました。歩佳さんは、学資のためのアルバイトと大学での学業のために、課外活動に参加する時間が取れなかったようですが、2年次の時に経営学部のSA (Study Abroad) プログラムでカナダのヴィクトリア大学で1ヶ月にわたる研修とホームステイを経験し、3年次・4年次の時には、ゼミナールの合宿研修で米国ロサ



奥様の歩佳さん (前列中央)

ンゼルスや韓国の企業訪問を行うなど、在学中に様々な海外での経験を積みまれました。卒業後は、海外との関係を持つことができる仕事をしたいと考え、語学学校に就職し、主に営業の仕事をしていましたが、ドイツに拠点を置く商社に就職していた夫の山本真一さんとの結婚の気持ちが高まった頃、海外での生活をする事ができるのかを試すことと、ご両親に納得してもらうため、数ヶ月の間ドイツでの生活を経験し

た後に結婚され、ドイツに居を構えることとなったとのこと。

フランクフルトでラーメン店を開店して4年が経ち、多くのリピーターが訪れるお店になったとのこと。開店当初は、日本人のお客さんが中心だったようですが、今ではドイツ人ももちろんのこと、様々な国の方が訪れるようになりました。

「無垢」では、看板メニューのラーメンも「ツバイ」をはじめとして、つけ麺まで何種類かのラーメンがあり、その他にもご飯はもちろん、餃子や唐揚げ等、日本人の大好きな食べ物が多く揃っています。ビール大国のドイツですが、「無垢」にはドイツで作られているキリンビールもあり、とても人気があるそうです。

「無垢」で商売をやるには今や常識とも言える、お店のホームページやブログなどを開設することもなく、「口コミ」だけでなく多くのお客さんを集めているとのこと。口コミと言っても、世界中の人が利用しているトリップアドバイザーなどでも高評価のお店なので、自前のホームページ以上の宣伝効果なのかもしれません。

新横浜ラーメン博物館への出店を機に、この後の新たな展開があるのでは?と伺ったところ、「はっきりと決まっていることはいないけれど、可能性はあります。今までの経験から、やるうと思っただけは必ず実現できると思えるようになってきました。」と頼もしいことをおっしゃっていました。

最後に、夫の山本真一さんについて伺ったところ、「抜群の行動力と交渉力の持ち主」とのこと。「無垢」の日本人スタッフの皆さんも、とても素敵な方々でしたので、皆様もフランクフルトにお越しの際には、是非立ち寄りたてはいかがでしょうか。

(文責: 佐藤 武)

# 地方で頑張っている飲食店紹介

## 手打ちそばとゆば会席

### 「いち遊」

#### 北澤 修

(昭和50年経済学部貿易学科卒)

千葉県松戸市の小金原にて営む「いち遊」は、紹介する北澤さんが丹精を込めてお出しする手打ち蕎麦と会席のお店です。千葉県の北部は古くから馬の育成が盛んで、江戸時代には幕府が小金牧をおき、広大な放牧場が広がりました。現在は、お店に面した街路樹の美しさと開放感のある町並みが印象的で、地形は起伏に富んだものとのことですが、それらは放牧場のなごりなのかもしれません。

学生時代は海外への興味もあったという北澤さん。その関心から貿易学科を卒業し、証券会社に就職しました。お店を開く契機となったのは、その会社でのイギリス勤務。イギリスでは趣味などを生かし、早期に「第一の人生」を歩むビジネスメンたちが多かったとのこと。刺激を受けた北澤さんは、ご自身の仕事観とも照らし、新しい道にチャレンジすることを決意しました。趣味の多い北澤さんは、バラの栽培や



アンティークにも関心があり、蕎麦打ちも習っていました。そうしたなか、友人と訪れたそれまでにない雰囲気のお蕎麦屋さんに感動し、その道を志すことにしました。

「いち遊」はチャレンジすることを決意してから、半年後には開店。修行にも行き、今や16年間営業を続けています。地元客やリピーターも多く、来るお客さんの顔はだいたい覚えていてのこと。大学時代の友人たちとも年一回の集まりをここでやっているそうです。お店は、手打ち蕎麦がメインですが、野菜の仕入れなどにも気をつけていて、食材にこだわった会席料理も自慢です。

北澤さんの第二の人生に憧れ、アドバイスを求められることもあるそうですが、チャレンジには勢いがあるうちに取り組むことが大事との弁です。ただ、成功には「勢い」だけではなく、求める客層を見定め、しっかりとマーケティングを行っていることも伺えます。

神大卒業生には、お声をかけていたいただきたいです。そのときに応じて、そっと出してくる北澤さんのおススメに期待しましょう。

(取材・文責/齊藤)

- 場所/千葉県松戸市小金原 8-33-3
- アクセス/JR常磐線(各停)北小金駅から徒歩10分
- 営業時間/ (昼) 11:30~14:30 (夜) 17:30~20:30
- 定休日/月曜日(祭日の場合は翌日)
- 客席数/24席
- 特徴/手打ち蕎麦と食材にこだわった会席料理
- 予算の目安/2,000円
- 連絡先/電話 047-340-2678 HP <http://ichiyu.info/>

## 長崎の味を極めた、日本料理

### 「更紗(さらさ)」

#### 林田 義史

(昭和50年法学部法律学科卒)

大学に入学して直ぐ、学費を稼ぐために六角橋交差点にある「末広園」でアルバイトを始めました。当時4,500円のアパート家賃をアルバイト収入で払い、食事はバイト先の賄で済ませる生活でした。正に老舗の修行生活のようでした。「末広園」のご主人鈴木さんの背中を見て、料理の世界に身を置く夢を持ち知らず知らず修行をしていたのかも知れません。

大学卒業と同時に東京の寿司屋・うなぎ屋・日本料理店を6年渡り歩き、店を開業するために長崎に戻った時、東京の醤油に慣れてしまった自分がいて、必死に長崎の味に戻す修行が始まります。長崎の味に戻すのに15年の歳月がかかりました。そして辿り着いたのは、何でも料理ではなく、本物に拘り、本物の素材で勝負することでした。

店を開業する際、銀行は本物の味に興味を示さず、全てを否定され融資を受けられない現実と直面した時は本当にきつかったです。男のプライドがスタスタになり、侮辱に耐え、それでも信念を貫き、ある人との出会いが人脈と信頼となり、本物の素材を生かす料理に融資していただけの銀行が現れました。今思えば、あの時が挫折と絶望のどん底だったと思います。そして、あのどん底があったから今があるのだと思います。

観光通り駅から徒歩3分、ご自慢の料理は、長崎県産天然の九絵を使用した「九絵(くえ)鍋」、長崎県で水揚げされた高級魚をこつくりと「のど黒の煮つけ」、天然真鯛の鯛飯など鮮魚をはじめ、長崎和牛、旬の野菜など食材を生かした料理の数々。

林田さんのモットーは「愛情」。思いを料理に吹き込むと本当におごつくなんです。よって笑顔で話してくれました。実は各界の著名人、有名人も来ているんですよ。



ですよ。

「更紗(さらさ)」の由来は、江戸時代に出島に火薬、鉄砲、ワインなどと共に長崎を通して献上された高級織物「更紗」にちなんで名づけられました。

長崎県認定、長崎県商工会議所共催のお墨付を受け、これから軍艦島や観光で注目される長崎県で、本物の料理の主役となる日本料理「更紗(さらさ)」今後目が離せないです。卒業生のみならず、神大卒エピソードを店主に伝え、店主がほほ笑み神大モードに切り替わったら、神大スペシャル登場！ぜひ立ち寄って召し上がってください。(取材・文責/栗林)

- 場所/長崎市万屋町1番21号 林田ビル2階・3階
- アクセス/JR長崎駅から路面電車1系統で8分、観光通り駅下車3分
- 受付時間/11:00時~16:30時
- 定休日/土日曜日・祝日
- 客席数/70席
- 特徴/地元長崎の素材で「天然真鯛・天然九絵・天然真鯛」を極める
- 予算の目安/ランチ1,260~懐石料理まで
- 連絡先/電話 095-850-4103

# 活性化している地域組織紹介 「宮城県宮陵会」



宮城県宮陵会 会長  
浅野 博之氏  
(昭和43年経済学部貿易学科卒)

## 「宮城県宮陵会再建への道のりは」

現在の宮城支部設立の経過は1980年、当時の工学部上野教授が来仙され同級生の井上修一氏(1964年工経卒 現(株)カルラ代表取締役) 福原勝氏(1964年工経卒現(有)イハラ商事 代表取締役に、宮城支部再建を託されました。

井上、福原先輩のご指導のもと、再建の準備実務を竹谷健一氏(1966年貿易卒現(株)セイコー実業 代表取締役) 長谷川博氏(1966年経済学科卒 元大日本土木(株) 仙台勤務) が指名され、支部長に故菅原甚左衛門氏(2015年4月23日ご逝去93歳 1944年商(株)千松島会長)が就任しました。

再建総会を大学より故米田吉盛元学長を迎え、1981年仙台のホテルにて開催しました。私は、その時の米田元学長の記念講義を記憶しております。若々しい、張りのある声で、「吾十有五而志学 三十而立 四十而不惑 五十而知天命 六十而耳順 七十而从心所欲、不踰矩」と論語の講義で

した。

菅原甚左衛門氏は宮城支部、東北ブロック会の発展に努め、その姿勢が、現在の宮城県宮陵会、東北ブロック会議の基礎となっております。

## 「東日本大震災を起点とした 更なる結束に関しては」

私が2010年宮城県宮陵会の世話役に推薦されてから、5年を迎えました。翌年2011年3月11日に発生した東日本大震災では、宮城県宮陵会は大なる影響を受けました。しかしながら、竹谷先輩を中心としたメンバーの的確なご指導のお陰で、OB会活動を継続できました。

震災の前年2010年度は、福島ブロック会議を開催し、当時の福島県知事佐藤雄平氏とも大いに交流し、次年度は宮城で会おうとの約束でしたが、大震災により開催しようにも混乱で会場が押さえられない状況でした。山形県宮陵会のごころ温まるご厚意にて、鶴岡にて2011年度東北ブロック会議を開催できました。ブロック会議のたすきはつながりました。山形県宮陵会の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、震災を契機として、気仙沼支部会(責任者 吉野忠氏1967年貿易卒)・石巻支部会(責任者 神農太三郎氏1963年経済卒)が発足し、活動が始まりました。

## 「年間の活動状況は」

年間の定例行事としては、1月中旬新年会として、1971年貿易卒 八幡敷一氏

のお店「菊寿司」に会員有志(15名)が集まり、箱根駅伝の話題を中心に、年間スケジュールも話題にして大いに盛り上がりました。恒例の締めは、前宮城県支部長(元応援団団長、元新潟鐵工常務取締役、1962年電気工学卒) 小林保博氏のエールで校歌・応援歌・寮歌を歌い、一年のスタートを切ります。

また、月一回第3水曜日に前述のOB福原さんのお店、そば処「ふくはら(仙台駅東口そば)」に集まり飲み会を行なっています。オープンなスタイルで親睦を深め合います。仙台へ転居したOBの情報も入ってきますし、会員獲得に貢献しています。

会員間の連携を深めるために、2014年には副会長の畑中栄氏(1968年工業経卒)が責任者として宮城県宮陵会のHPを立ち上げました。ご活用ください。

## 「思い出深い企画は」

2015年度のメイン事業として、5月30日(土) 母校の吹奏楽部演奏会を東北大学100周年記念会館、川内萩ホールで開催いたしました。

2008年から2009年にかけて、仙台で母校神大を一般の方にもより深く認識していただくために神大吹奏楽部の演奏会を提案し、立地や設備を考え、当初から会場は東北大学川内萩ホールと計画を立てていきましたが、会場の確保がうまく調整できず、なかなか進みませんでした。

しかし、昨年大学から吹奏楽演奏会を仙台で、しかも萩ホールで行なうとのアナウンスがあり、心踊りました。何とか成功させたいと、本年2月から拡大幹事会を4、5回開催し、集客、チケット配布の打ち合わせを行い、宮城県宮陵会の責任者数150枚をスムーズに配布できました。

復興の役に立ちたい、元気をだしてもらいたとの想いで、石巻地区の、吹奏楽部に

関係する、小学校、中学校、高校の生徒と先生、仙台地区の七郷中学の吹奏楽部の生徒、先生、合計100名を招待できました。石巻地区からは、貸切バス3台にて送迎いたしました。演奏会は素晴らしく、1、100名の聴衆に感動をもたらし、熱意と感謝のスタンディングオベーションでした。さすが、日本一の神奈川大学吹奏楽部です。母校と、宮城県宮陵会会員が一体となって、一つの事をやり遂げた達成感と熱い気持ちの母校愛を共有できたことを喜び合いました。

## 「大学への要望は」

会を運営して行く上で悩んでいることは、平成に卒業したOB、OGの参加をどのようにしたら充実できるかです。

現役学生に対して、入学式や年次毎そして卒業時に、宮陵会の紹介等、広報活動を徹底して行って欲しいと思います。

卒業して、海外国内、何処で勤務しても仲間がいる、同窓に会えるという神大ならではの強みを、もっと学生に伝えて欲しいと思います。同窓生の心のつながりが、人生での問題解決の一助となることを理解していただきたいのです。

## 「大学に対して、学生に対しての思いは」

あなたは、20年後30年後に母校が素晴らしい発展し、高い価値を有している大学になっていることを望みますか? 当然、卒業生の皆さんは発展している神大を望むでしょう。それを実現するには、どのように行動しますか?

大学には、創立100周年に向けてビッグイベントの開催を期待しています。

学生には、「無気力にはならない」自らの力で人生を切り開いていく、神大生の良き伝統を継承していただきたいと思えます。

(取材・文責/永田)


全国のブロック会が  
新たなイベントを企画して  
皆さまの参加を  
お待ちしております!!

平成27年度から、これまでの各地域ブロック会ごとに実施してきました、各会長によるブロック会議と併せて、ブロック内の会員も参加できるイベントを企画し、同時に開催される懇親会にも会費制で参加できるように変更することにしました。これまでは、ブロック会議の当番制開催地の会員だけを対象として講演会と懇親会を実施してまいりましたが、全国の各ブロック内の会員の皆様にも、この催しをご案内することにして開催地近隣の会員も参加することを可能とすることにしたものです。  
今年度の拡大イベントは準備の整ったブロックから順次ご案内してまいります。

### 近畿ブロック会

【主管】 奈良県宮陵会  
10月3日(土) ホテル日航奈良

1 記念講演会 午後3時～4時  
「天空の間」(5階)  
講 師 華嚴宗大本山東大寺 教学執事  
上司 永照 師  
(かみつかさえいしょう)  
(東大寺塔頭 持宝院住職)  
演 題 「大仏造頭(ぞうけん)の心」




2 懇 親 会 午後4時30分～6時30分  
「羽衣の間」(4階)  
会 費 会 員：一人8,000円  
女性会員：一人6,000円  
準会員(神奈川大学在校生)：一人6,000円  
○直前の欠席につきましては、キャンセル料を頂戴いたします。  
○女性会員、準会員は宮陵会本部が会費の一部を負担いたしますので、上記金額となります。  
申込方法 別にお送りしているご案内に同封の返信はがきによりお申込みください。  
申込締切 平成27年8月31日(月)  
そ の 他 ①定員80名(先着順)  
②参加者には9月10日(木)までに「参加受付はがき」を送付いたしますので、当日ご持参願います。

### 神奈川県ブロック会

【主管】 藤沢、相模原、磯子区、神奈川区、西・中宮陵会  
10月31日(土) 神奈川大学横浜キャンパス

1 記念講演会 午後3時～4時  
3号館B104講堂 地階  
講 師 神奈川大学理学部化学科  
上村 大輔教授  
演 題 「生命のアイデアを、化学する」



2 懇 親 会 午後4時30分～6時30分  
19号館地階 ラックスホール  
会 費 会 員：一人2,000円  
女性会員：一人1,000円  
○直前の欠席につきましては、キャンセル料を頂戴いたします。  
○女性会員は宮陵会本部が会費の一部を負担いたしますので、上記金額となります。  
申込方法 県内会員は同封の返信はがきによりお申込みください。  
申込締切 平成27年9月20日(日)  
そ の 他 ①定員300名(先着順)  
②参加者には9月30日(水)までに「参加受付はがき」を送付いたしますので、当日ご持参願います。

\*当日は、神大フェスタ(大学祭)が開催されています。この期間中キャンパス内は禁酒となっています。本懇親会もソフトドリンクのみとなりますのでご協力ください。

ブロック外の会員で参加希望の方は、本会事務局へお問い合わせください。 ☎ 045-481-5661 (内線2451)

ブロック会議予定	九州ブロック会議	10月24日(土)	主管	鹿児島県宮陵会	鹿児島市
四国ブロック会議	9月12日(土)	主管	愛媛県宮陵会	松山市	
東北ブロック会議	11月14日(土)	主管	宮城県宮陵会	仙台市	
中国ブロック会議	11月28日(土)	主管	広島県宮陵会	広島市	
北海道ブロック会議	5月30日(土)	主管	札幌宮陵会	札幌市開港済	

宮陵会だより

■会議予定

理事会 平成27年9月4日(金)  
12月14日(水)  
12月7日(月)

■総会開催予定

平成27年8月22日(土) 鳥取因幡宮陵会  
8月29日(土) 大分県宮陵会  
9月12日(土) 静岡西部宮陵会

■新地域組織代表者紹介

秋田県宮陵会	佐藤隆良
福井県宮陵会	伊藤恵一
福井県宮陵会	武田幸夫
ロースアンゼルス宮陵会	平8 國経
横浜西・中宮陵会	34 電
南区宮陵会	41 工経
戸塚・米区宮陵会	41 法
三洋みやも会	49 法
横浜信用金庫宮陵会	56 法
クリエイトメディアック宮陵会	58 法
	佐藤正浩
	北村秀雄
	小田嶋彰
	武笠健次
	和田英雄
	大江三雄
	佐原雄介
	伊藤幸夫
	伊藤恵一
	佐藤隆良

■地域組織解散

一八会

■訃報 謹んでお悔やみ申しあげます。

馬場 元二殿(16商)  
平成27年5月14日 元札幌支部支部長

君島 清悟殿(29経)  
平成27年5月31日 横浜西・中宮陵会会長

山岸 宣彦殿(39機)  
平成27年6月23日 元青森県宮陵会会長

■事務局よりお願い

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

①神奈川大学ホームページ  
(http://alumni.kanagawa-u.ac.jp/)  
↓卒業生情報登録・変更のご案内

② FAX 045-413-0791

③ E-mail kyunyou-jimu@kanagawa-u.ac.jp

※登録した皆さまの個人情報につきましては、皆様の個人情報の重要性を深く認識し、「学校法人神奈川大学プライバシーポリシー」に従い適正な保護管理に努めています。

### 全国地域組織事務局長会議開催

全国地域組織代表者会議は、隔年に開催していますが、本年度は各地域組織の代表者に代わりまして事務局長会議として開催します。

期 日	平成27年10月10日(土) 午後2時から5時 大学のホームカミングデー前日に開催。	議 題	●地域組織のホームページ立上げについて ●ブロック会の運営について ●助成金の申請について
場 所	神奈川大学16号館セレストホール		

# 「女性会員のつどい」のご案内

今年は「ワンコイン (500円) で楽しむ女子会 (女性会員のつどい) を企画しました。



宮陵会より、女性の皆様だけに特別の補助がありますので超お得にいっぱい楽しんでしまいましょう。

8月2日(日)に新潟市(会報発行時点では終了)、9月6日(日)に福岡市で開催します。また、大学の夏季休業期間中なので、在校生(準会員)にも参加者を募っています。女性会員(ご卒業生・在校生)ならどなたでもお申込みいただけますので、この機会にお一人でもグループでもお気軽にお申込みください。事務局一同、皆様にお会いできることを楽しみにしています。



## ワンコイン (500円) で楽しむ 『アフタヌーンティー & ライブパーティー』 in

貸切会場の生ライブ!

今回はここ!  
**福岡**

貸切の会場で!  
スイーツ&ドリンクを  
いただきながら!  
校友との交流を深めつつ!  
ライブを楽しみましょう!

出演者:『みほりょうすけ』さん  
日本全国で年間約100本のステージに  
立ち、笑い&感動の融合するエネルギー  
溢れるステージは高い評価を得ている。  
特に「さだまさし」のカヴァーは大好  
評で大受け間違いなし!

### Live みほりょうすけ



「MIHO-City」HPより

- 会費 500円 (当日お支払いください)
- 日時 平成27年9月6日(日) 14:00 ~ 16:00
- 会場 箱崎水族館喫茶室 「水族館」ではありません  
福岡市東区箱崎 1-37-21  
TEL 092-986-4134
- アクセス JR鹿児島本線 箱崎駅 徒歩8分  
地下鉄箱崎線 箱崎宮前駅 徒歩7分  
西鉄バス 箱崎バス停 徒歩5分
- 申込方法 宮陵会事務局宛にご連絡ください  
TEL 045-481-5661 (内線2451)  
メール kyuryo-fujin@kanagawa-u.ac.jp
- 申込締切 平成27年8月25日(火)  
※8月11日(火) ~ 16日(日)は夏季休業です。

## 「神大スポーツ・文化振興 賛助金募金」のお願い

神奈川大学の課外活動団体に対する支援として、宮陵会と大学が連携を図り共同事業としてすすめています。

皆様から賜りました寄付金は、ご指定いただきました課外活動団体に回付し、課外活動に頑張る学生への支援として活用させていただきます。ぜひともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

### 【お申し込みについて】

- 1口 1,000円 (1団体1口以上1,000円単位)
- ① インターネット受付 (大学公式ホームページ経由)

🔍 神奈川大学募金 🔍 検索

「募金のお願い」

「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」

### ② 払込取扱票受付

下記までご請求ください。払込取扱票を郵送させていただきます。

\* 各々の団体の情報を見ることができます。

🔍 神奈川大学 体育会 🔍 検索

学校法人神奈川大学 総務部募金課  
TEL:045-481-5661 (内線2155) 平日 8:30 ~ 16:30

### 第21回

## 懐かしい恩師や友人と、あの頃に戻って / ホームカミングデー開催のお知らせ

- ◇ 日程 2015年10月11日(日) 10:00 ~
- ◇ 場所 神奈川大学 横浜キャンパス内

ご友人、ご家族とお誘いのうえ、懐かしい母校を終日お楽しみください。当日クラス会等を予定される場合には教室を利用できますので、代表の方は名称・人数を予めホームカミングデー実施事務局までご連絡ください。

ホームカミングデー実施事務局 総務部校友課  
TEL 045-481-5661 (代)

## 神奈川大学箱根保養所ご利用案内

箱根山の噴火レベル引き上げに伴い、規制のレベルは大涌谷噴煙地を中心に半径1kmです。箱根保養所は規制対象外ですのでご安心してお越しください。(7/14現在)

🔍 神奈川大学 箱根保養所 🔍 検索

1泊2食付 大人 6,260円 子供 2,700円

お申込みは、インターネットまたは、お電話・FAXでお申し込みください。

### 神奈川大学 箱根保養所

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町 大字千石原1104-1  
Tel.0460-84-9611 Fax.0460-84-9612

